

販売バイオリンク

ヘアケア商材の供給へ

毛母細胞増殖因子「FGF-7」を配合

同社がFGF-7配合ヘアケアラインとしてラインナップするのはシャンプー(配合量10%)、コンディショナー(同)、スカルプエッセンス(60%)の三製品。なかでもスカルプエッセンスの拡販に注力したいと考えて、まずは初年度で年間三万本の売上を目指す。価格は一万六八〇〇円。なお、同社からのEGF配合化粧品は供給はすでに一〇万個を超えており、エステティックサロンと通販ルート中心で現在も拡販が進んでいる。

(株)バイオリンク販売(大阪市中央区)が毛母細胞増殖因子「FGF-7」を配合したヘアケア商材のOEM供給を開始する。発売開始は今月末の予定で、現在サンプルワークを展開している。同社では昨年「E

れるが、近年アンチエイジングや美肌ケアのひとつとして定着している。医療レーザーとは違い、光のエネルギーを利用し毛根を破壊することで、肌の深部までエネルギーが到達しないため、熱をあまり感じない、安全性が高いなどのメリットがある。

GF」(上皮細胞増殖因子)、「FGF-1」(線維芽細胞増殖因子)と立て続けに増殖因子配合のコスメシューティカル商材を市場に打ち出してきた。今回新たに発表した「FGF-7」(Fibroblast Growth Factor-7、表示名称ヒトオリゴペプチド-5)は別名「KGF」(ケラチノサイト増殖因子)とも呼ばれる成分で、毛乳頭に作用し毛母細胞の増殖や分裂を促すことで毛髪成長を促進させる作用を持つとされる。資生堂が販売している発毛促進剤「アデノゲン」に配合される有効成分アデノシンは、FGF-7の産生を効果